

# 私立大学研究ブランディング事業

## 令和元年度の進捗状況

学校法人番号	281031	学校法人名	玉田学園		
大学名	神戸常盤大学				
事業名	地域子育てプラットフォームの構築を通じたAll-Winプラン				
申請タイプ	タイプA	支援期間	5年	収容定員	950名
参画組織	保健科学部(医療検査学科、看護学科)、教育学部、短期大学部口腔保健学科、地域交流センター、KTU研究開発推進センター				
事業概要	本事業は、子どもの成長を核とするまちづくりを行うものである。神戸市長田区を対象に「子育て支援」について、本学の専門性を駆使してその解決策を講じ、地域のソーシャルキャピタルを発掘、強化し、本学と地域が一体となった「地域子育てプラットフォーム」を組織する。本学はその一員として教育・保健医療の機能をもった「子育て総合支援施設」での取組みを広報することで「地域と歩みを共にする大学」というブランド醸成を図る。				
①事業目的	<p>本事業は子どもの成長を核とするまちづくりを地域と協働して行うものである。そこでは具体的に、以下の3つの目的を果たし、「地域と歩みを共にする大学」のブランドイメージを学外に広く発信し、その定着を図る。</p> <p>(1) 市内とりわけ長田区及び隣接区において、長田区内で運営する「子育て総合支援施設」を主な活動場所としながら、地域の子どもたちの成長を支え続けられる組織体制「地域子育てプラットフォーム」の構築を図る。</p> <p>(2) 本学が持てる教育・保健医療の専門力を駆使して、地域が抱える子育て支援をめぐる課題の全貌、及び地域に潜在するソーシャルキャピタルの発掘、強化に取り組む。</p> <p>(3) 「地域子育てプラットフォーム」を通して取り組まれる一連の方策が果たす効果、とりわけ貧困家庭にある子どもたちの成長に対する効果を、本学が有する研究力を駆使して、包括的に検証する。</p>				
②令和元年度の実施目標及び実施計画	<p>神戸市長田区における子育て及びその支援に関する課題を引き続き明らかにするとともに、「地域子育てプラットフォーム」を通して取り組まれる子育てへの総合的な支援の効果を測定する方法を確立し、その成果を学会発表や論文・公開講座等で公表する。具体的には以下の3つを行う。</p> <p>①「子育て総合支援施設」利用者が年間延べ400名以上、子育て支援に関する取組みを30件以上開催する。</p> <p>②「地域子育てプラットフォーム」の取組み認知度を対象地域の保護者の50%以上、入学生の10%以上まで高める。</p> <p>③研究方法の確立:前年度の活動に加え、「地域子育てプラットフォーム」による子育てへの総合的な支援の効果についても明らかにしていく。</p> <p>&lt;研究成果公表方法&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 関連学会にて発表したり大学紀要において論文にまとめたりする。</li> <li>◆ 地域の方々とともに子育て支援について考える公開講座等を設ける。</li> </ul>				
③令和元年度の事業成果	<p>研究面での成果:</p> <p>昨年度より本格的・具体的な研究がスタートし、次に段階へ突入したコア・リサーチである「長田区における子育て及びその支援に関する現状と課題」と13件のユニット研究、合計14件の研究の研究活度・研究成果の概要数値は、以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎査読有り論文:1編</li> <li>◎査読無し論文:1編</li> <li>◎講演・口頭発表等:10件</li> <li>◎研究活動ための出張:92件</li> </ul> <p>子育て支援の取組みでの成果:</p> <p>子育て総合支援施設KIT(きっと)を拠点とし、より地域に溶け込んだ活動を実施した。以下に特筆すべき数値を示し、計画が順調であることを示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎子育て支援関連プログラム:116回実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>子育て相談(24回)、歯科相談(8回)、フッ素塗布(4回)、GGDAY(6回)、公開講座(6回) 他多数実施。</li> </ul> </li> <li>◎年間利用者数:延べ8,221名(前年度比145%)</li> <li>◎地域開催のイベント(お祭り)にブース出展等で参加。</li> </ul> <p>広報活動での成果:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■KISS FM KOBEにて年間としてCMを放送し、周知を図った。</li> <li>■KISS PRESS(フリーペーパー)10月号では取材を受け、見開き両面で施設の取組みを紹介いただいた。</li> <li>■令和2年3月末には参加者400~500名規模のイベントを学内で開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。</li> </ul>				

④令和元年度の自己点検・評価及び外部評価の結果

(自己点検・評価)  
**研究面での自己点検・評価:**  
 研究の進捗については、〈研究成果報告・意見交換会〉で報告を行い、チームリーダー他のユニットリサーチャー同士でアドバイスしあった。今年度は、合計8回の会合を実施した。

子育て支援の取組みでの自己点検・評価:  
 目標数値である年間30件の4倍近くを開催し、年間利用者の延べ人数も目標値の20倍以上の利用者があった。これらのことから着実に成果が出ていると判断した。また、学内実施イベント来場者へアンケートを実施した結果、126名からアンケート回収し、67名の方々が本学の組みを認識いただいていた。

広報活動(広報戦略)での自己点検・評価:  
 HPを始めとした様々な媒体を通して広報活動を実施出来たと考える。  
 集大成と位置付けたイベントの中止は、非常に残念であったが、子育て総合支援施設KITにおいて神戸市内休校要請中も小学生児童を受け入れ、新聞、TV等のメディアで取り上げられるなど一定の貢献はできたと考える。

(外部評価)  
 外部評価委員会を令和2年3月に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止とし、各委員への電話等での意見ヒアリングを実施した。  
 委員からの主な意見は次の通り  
 ■5年間の計画が今年度で終了してしまうことを非常に残念に思う。  
 ■補助採択事業としては一旦、終了となりますが、子育て総合支援施設KITと元町6丁目にある子育て広場ときわんモトロクの運営がそのまま続く聞いて安心してあります。  
 ■あまり目標(数値)にとらわれず、他地域のモデルとなれるよう期待しています  
 ■来年度からは新学科も開設されると聞いており、幅広い分野での活躍を期待する。  
 ■神戸市内9つの区役所にてスタート始めた【おやこふらっとひろば】事業。  
 長田区においても令和2年度4月より【おやこふらっとひろばながた】がスタートした。  
 いろいろな場面での連携協力を期待している。

以上、令和元年度の成果は実施目標・計画に達成しているものと評価できる。

⑤令和元年度の補助金の使用状況

経費区分	研究設備 整備費	研究 推進費	広報・ 普及費	人件費	その他 (借損料等)	総額
支出総額(千円)	1,036	1,036	6,267	10,961	6,000	25,300
うち、私立大学等経常費補助 (特別補助)	1,000	1,000	6,000	6,000	6,000	20,000

本事業に関わる経費は定期的に監査を受け、適切な執行・管理を行っている。